



こころにふれる

家族や地域の架け橋になる可能性を持った「絵本」。有田川町では『この町に住んでよかった』につながる「絵本によるまちづくり」を行っています。あなたも、そっと絵本の表紙をめくってみませんか？

家族の絆 地域のつながり

現代社会は昔に比べ、家族や地域のつながりが希薄になったという人が多くいます。

内閣府の「国民生活白書」には、家族を大切だと思う人は70年代以降増加しているのに対して、親子での対話が十分できていると回答した人は年を追うごとに減少しているとあります。

さらに地域のつながりにおいても、生活面で協力する近所の人がいないと回答した人が6割を越え、地域の活動には時間がない・きつかけがないといった理由から、参加できていない方が目立ちます。

暮らして楽しい、 おもしろい 有田川町の実現

広報ありだがわ1月号で取り上げた「地方創生」。「消滅可能性都市」として名前が挙がる有田川町は、「有田川町まち・ひと・しごと・創生総合戦略」の基本方針に人口ビジョンの達成、基本理念に「暮らして楽しい、おもしろい有田川町の実現」を掲